

「自由に色をぬる時、自由に絵を描く時に国旗カラーにすることの理由」

活動再開から2か月が経ちました。図画工作、算数の指導は試行錯誤しながらであるからこそ、毎回の授業が楽しくその毎回の授業を大切におこなっていきたくてこれまで以上に感じるようになった日々、そうした中、私が長い事思っていた事に「理由はそれだけなのか？」と疑問が生まれました。実は前からこの疑問を抱いていました。長い事思っていた事、それは描く色描く物がすべてガーナ国旗であり、それはガーナ国民の愛国心からくるものなのだろうずっと理由も聞かず勝手に思い込んでいました。確かにガーナ国旗は様になり、日本と違い日常の中に必ずと言っていいほど目にする赤黄緑で真ん中に黒い星という様になる配色で、今私の傍らにあるペットボトルのふたにもQRコードとともにガーナ国旗が描かれています。逆に言ってしまうと日本だけが日本国旗が登場するのはスポーツ大会の時や祝日にしかなく、その祝日さえも国旗が掲げられることが少なくなってしまいました。そうしたガーナ国旗を日々目にする生活だから、子どもたちも自然とその色を好み、色を塗る機会を得たらどんな素材であってもガーナ国旗を描くのだとばかり思っていました。活動再開になり、プラスチックカップで風鈴を作った中1の授業でのごとく「好きな絵を描いていいよ。」と言う私に数人の生徒はきょとんとしました。好きな絵がわからない。何を描くのかわからない様子でした。結局、プラスチックカップの形状もあり大半の子どもが絵を描くよりその形にそって色を塗っていくだけのものになってしまったのです。以前からうすうす気づいてはいたけれど、その理由を「愛国心から」の理由一つで済ませてしまっていたけれど、「いい加減に気づきなさいよ」と戸惑う子どもの表情や完成した風鈴を見てガツンと戒めを受けたようにも感じました。「自由に描いてもいいよ。」と言われても見本となる数々の絵や写真をこれまでの生活の中で見てきた子どもはとても少ないのです。アニメや漫画、絵本や写真を見て「これステキだな。私も真似して描いてみたいな。」となる体験がとても少ないのです。私の4年生6年生になる姪っ子は少女漫画が大好きでラインのアイコンは常に少女漫画のアイコンです。確認はしていませんが、おそらくお気に入りの漫画のイラストは真似て描いていることでしょう。日本にいればそれなりに多くの物に触れているので「自由に描いてもいいよ。」と紙とくれよんや色鉛筆、マーカーなどの類を渡されたら「何を描こうかな」と思った後、それぞれに自分が描きたいものを描くでしょう。しかし、「自由に描いてもいいよ。」と言われた時に「何を描いたらいいのかがわからない。」という子どもが多いのもこの学校の現状なのだかと気づかされたのです。全ての子どもが「何を描いたらいいのかがわからない」というわけではなく、落ちているチョークで黒板に絵を描いて楽しむ子どももいれば、ノートや机に落書きをしている子どもを見かけます。描かれたその絵はアフリカンアートをまさに感じるものもあれば授業で習った四角を立体的に描いたものであったりと実に様々です。「何を描いたらいいのかがわからない」から「あれを描こう」となるには、やはりたくさんのお本に触れることが大切なのでしょう。もちろんガーナ国旗を描くのを否定しているわけではありません。たくさんのお本に触れ「これステキだな。私も真似し

て描いてみたいな。」と感られる体験をし、また、いくつかの見本を準備するのの一つの描いてみたいものにつながるのかなとも思いました。いろんな方法があるという事はやはり、たくさんの体験をさせてあげることが大切なのだと思います。ただそうした中で、気をつけたいのが描く事や作り出すものには正解がないという事です。ガーナの活動を本格的にする前に2週間だけガーナで活動した際、北部の小学校で「将来なりたいもの」を描いてもらった時の事、まさに「何を描こうか」「何を描いたらいいのかわからない」状態の子どもたちの前にヨレヨレの背広を着た先生が黒板にケーンと呼ばれる木の棒を持った後ろ姿の教師（おそらく自分を描いたのでしょう）を描き「先生を描きなさい。これを（これと同じに）描きなさい。」と生徒に言ったのが忘れられず、先生のを手本に描くのは良いけれどそれが正解ではないんだと感じたものです。なので、先に挙げたプラスチックカップの件以来、工作の従業で見本を用意する際は「サンプル」である事、自分で考え描いて良いことを子どもたちに伝えています。しかし、やはりまだ初めてやるものに関しては見本と同じものになってしまっています。まさに「これステキだな。私も真似して描いてみたいな。」の絵を好きに描くきっかけ、はじめの一步なのでしょう。本に触れる機会、絵を描く機会をたくさん作ることによって、ガーナ国旗とともにこれからはたくさんの描きたいと思った絵が描かれることになるでしょう。



2年前当時2年生の女の子が黒板に書いた絵



身近にいつもあるガーナ国旗 初めてのアイスクリームけん玉 Monster☆DenDen
ガーナ挨拶 No.34 2021/03/20
國分敏子